

錦江町立大根占小学校 第2学年

【授業実践のポイント】

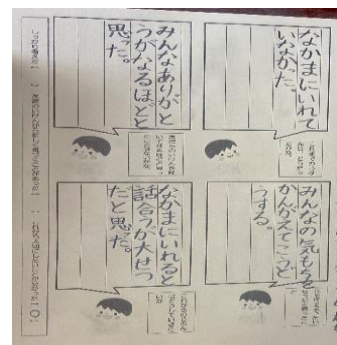
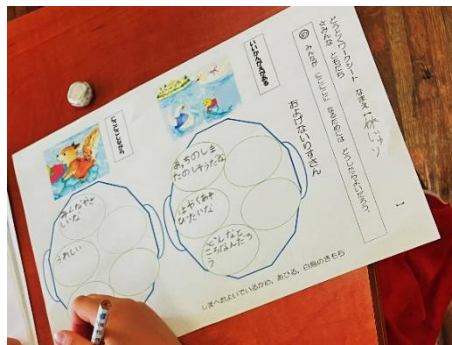
- ① 児童が主体的に考え、議論するために、ねらいを明確にし、道徳的価値に基づいた発問の工夫を行った。(発問マトリクス, 思考ツール, 話し合いカードの活用)
- ② 自己の生き方についての理解を深めるために、振り返りの工夫を行った。(テキストマイニングツールの活用, 道徳コーナーの設置, 振り返りの観点や蓄積)

- 1 主題名 「みんな 友だち」[B - (10) 友情, 信頼]
- (1) 教材名 「おかげないりすさん」(日本文教出版「生きる力2」)
- (2) 本時のねらい
友達の気持ちを考え、助け合おうとする心情を育てる。

2 授業の展開

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
気付く	1 アンケートの結果を基に、心の弱さに気付く。 2 本時のめあてを立てる。 みんながにこにこになるには、どうしたらよいか考えよう。	3分	○ ねらいとする道徳的価値の方向付けをするために、友達と仲良くできなかったときの自分の心の弱さに着目させる。 【テキストマイニングツールの活用】
さぐる・見つける	3 教材を読んで、考え話し合う。 (1) りすの気持ち (2) かめたちの気持ち T: もし、自分がりすやかめたちの立場だったら、どんな気持ちになるだろう。(投影的発問) T: りすとかめたちの気持ちは、どうして変わったのだろう。(共感的発問) 4 みんながにこにこになるには、どうしたらよいか考える。 みんながにこにこになるには、相手の気持ちを考えて助け合うことが大切。	32分	○ りすとかめたちの両方の立場から気持ちを考え、比較させるために、ワークシートを工夫する。 【思考ツールの活用】 ○ 自分の考えを広げさせるために、自分の考えを友達に伝えたり友達の考えを聞いたりさせる。 【話し合いカードの活用】 ○ 相手の気持ちを考え、助け合うことよさに気付かせるため、投影的発問をしたり、役割演技を取り入れたりし、自分事として考えさせる。 【発問マトリクスの活用】
深める・あたためる	5 今日の学習を通して、感じたことを振り返る。 6 教師の話聞く。	10分	○ ねらいに基づいた振り返りをさせるために、「これまでの自分」「友達の考えを聞いて」「学習したこと」「これからの自分」という4つの観点を示し、振り返らせる。 【振り返りカードの工夫】 【ファイルで振り返りカードを蓄積】

〈板書〉



〈役割演技〉

登場人物の気持ちを多面的・多角的に考えるために、役割演技を取り入れている。

〈ワークシート〉

道徳的価値に迫る方法の一つとして思考ツールを取り入れている。ここでは、登場人物の気持ちを比較しやすい思考ツールを活用している。

〈振り返り〉

ダイヤモンド・サイクルを基に、振り返りの観点を示し、毎時間活用している。

3 実践を終えて

(1) 成果

- ア 役割演技をした後に、投影的発問・共感的発問をしたことによって、登場人物の気持ちを多面的・多角的に考えることができた。
- イ 振り返りの観点を4つに分けることで、授業の中で児童が「どの視点で授業を見ていけばいいか。」「友達の意見をしっかり聞こう。」といった目標をもって取り組んでいる姿が見られた。

(2) 課題

- ア より児童が自分事として道徳的課題を捉えるために、一人一人が自分のめあてとまとめをつくることのできるようになっていきたい。
- イ 役割演技のときに発問を工夫することで、演技をする児童だけでなく、演技を見ている児童にも考えを共有できるようにしたい。
- ウ 役割演技に時間がかかったので、話合いの時間を多く確保していきたい。